

企業名： 三菱倉庫株式会社

レポート名： 三菱倉庫 統合報告書

1. この会社が目指す姿が理解できるか

表紙の裏にある企業理念は開いて最初のページにあるということもあり目につきやすく、また明確な言葉で理解しやすい。

「ESG/SDGs 対応に向けた取り組み」という項目において三菱グループの方針である「三菱三綱領」や企業理念実現のための行動基準ともからめながら企業が目指す姿が明確に書かれている。また次ページの「価値創造ストーリー」では図や記号も巧みに使いながら企業の目指す姿を巧みに描写しており、文字だけでは退屈になることを未然に防いでいる。

2. この会社の競争優位性が理解できるか

「事業紹介」のパートにおいて事業ごとに説明がなされている。現状とともに事業戦略に関する記述もありそれが「競争優位性」についての説明になっているのだろう。この事業戦略の説明は抽象的な説明が多くこのレポートを読んだだけで他社と比較した際にどのような競争優位性があるのか理解することは少し難しいように感じる。一方その下にある具体的な事業(e.g. 埼玉県三郷市に“SharE Center misato”を開設)の説明は素人目で見ても理解しやすく企業の強みを知ることができたような気がする。

3. その競争優位性に持続性があるかどうか理解できるか

企業の目指す姿に関する記述に近い内容でもあるが「MLC2030 ビジョン・中期経営計画」という項目において将来性に関するビジョンをきちんと明示している。また次ページでは抽象的な話題だけでなく具体的な取り組みを二つ紹介しており、絵空事ではなく実現可能な現実的な目標であることが理解できる。

4. この会社で自身の人的資本の価値向上を達成できると思うか

報告書中盤で人材育成(研修)体系に関する説明がある。キャリアステージと各項目ごとにどのような研修、業務をしていくのか明確に説明されており企業の一員として働いてく中でどのように成長できるのか具体的にイメージできる。そのため自分が人的資本として成長できるのかきちんと考える材料は揃っていると言える。またそれ以前のページでは人権と論同環境に関する記述もなされており安心して業務に臨むことができよう。

5. 報告書にはどのような改善余地があるか

全体的に抽象的な説明が多く企業の性格や目指す姿を知る際に具体的なイメージをするのが難しい。具体的な事業や実績に関する記載がより多いと上記の問題も解決しうるので

はないだろうか。